

平成 20 年 3 月 25 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2008 年 2 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2008 年 2 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル名/項目	客室稼働率 (%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	64.2%	14,286	9,176	510
オリエンタルホテル 東京ベイ	79.0%	14,105	11,139	460
なんばオリエンタルホテル	87.5%	10,351	9,059	168
ホテル日航アリビラ	56.8%	16,495	9,362	247
オリエンタルホテル広島	40.0%	8,342	3,338	122

上記開示に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門については、堅調なマーケットに支えられ稼働率、ADR 共に前年同月を上回り、同部門の RevPAR 及び売上は前年同月を上回る結果となりました。レストラン部門においては宿泊人数の増加に伴う朝食売上の増加が牽引し前年同月を上回り、婚礼部門においては件数増加・件単価向上により前年同月を上回る売上となりました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 68 百万円上回る水準となりました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門については、連日の悪天候を受け東京ディズニーリゾートの来園者数が対前年同月比で下げられる中で、稼働率は下落、但し、ADR が上昇したことから、売上は前年同月を上回りました。宴会部門も、一般宴会及び婚礼共々好調裏に推移し、前年同月の売上を上回りました。さらに、レストラン部門でも、宿泊者数の減少により朝食売上が対前年比で下落するも、昼食、夕食売上は増加し前年を上回る結果と

なりました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 39 百万円上回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門について、市場全体が対前年比で弱含み、更には競合ホテルが改装の為休館となっていた前年の特殊要因が剥落したこと等により稼働率は低下しましたが、ADR が前年同月を上回り、結果的に前年を上回る売上となりました。さらに、テナントの解約金が計上されたこともあり、ホテル全体の売上は前年同月比より約 17 百万円上回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門について、年明け第2週からの客室改装の影響により稼働率、ADRともに低下、前年同月を下回る売上となりました。レストラン部門も改装に伴う宿泊人数の減少により前年を下回りました。結果的には、ホテルの総売上は、前年同月を約110百万円下回る結果となりました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門について、客室改装に伴う販売売止が 1,958 室発生した為、客室稼働率が前年同月を下回り、ADR は上回ったものの、同部門の RevPAR 及び売上は前年同月を下回る結果となりました。レストラン部門においては、前年同月と同水準の売上になっており、宴会部門においては、婚礼宴会が件数・件単価が共に増加した為、前年同月を上回る売上となりました。結果として、ホテルの総売上は約 122 百万円となりました。

-
- 注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される 6 ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注 3) ADR : 平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADR と客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第 2 位を、ADR、RevPAR については小数点第 1 位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>